

美し国 三重 桑名

# 六華苑 秋の舞楽会

2024/11/9(土)-10(日)

午前の部 10:30~  
午後の部 13:00~

うづうひらさい ことりそ  
左方平舞 : 萬秋樂

「天は円、地は方」の舞台

入場無料(入苑料460円必要)

六華苑 (旧 諸戸清六邸) / 鹿鳴館で有名なジョサイア・コンドル設計による4層塔の洋館と材木商の諸戸家が贅を極めた和館に池泉回遊式庭園などがある近代文化遺産(国重要文化財・名勝)  
駐車場に限りがありますので、公共交通機関も御利用ください。当催事は、桑名市文化協会会員の公演です。多度大社の神事ではありません。

アクセス: 三重県 桑名市 桑名 663 番の 5 (TEL0594-24-4466)

➡ <鉄道> 近鉄・JR桑名(名古屋⇒20分)から徒歩20分

➡ <自動車> 東名阪桑名東 又は 伊勢湾岸桑名ICから15分



日本の心を音楽と舞で伝える

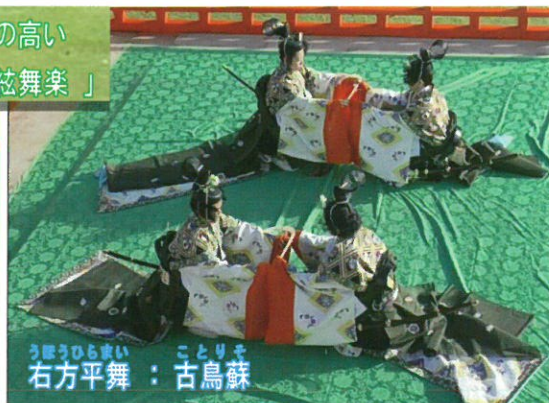
## 雅楽

桑名宗社の  
大祭神事舞



格調の高い  
「管絃舞楽」

問合せ: 田中松緑  
TEL0594-48-3484



うづうひらさい ことりそ  
右方平舞 : 古鳥蘇



企業メセナ協議会助成認定事業  
税制優遇の寄付へご協力ください



20周年(2005-2024)記念



主催: 多度雅楽会

## 国名勝庭園の雅楽を未来へ 寄付者募集

六華苑舞楽会は、本年20周年。国文化財の舞台で、地元の児童や学生も活躍して、伝統の音楽と舞を伝えてきました。次の20年の継承に向けて、税制優遇の寄付者（企業5万円以上/個人1万円以上）を募集しています。なお、税制優遇を受けるためには、確定申告が必要です。

ご協力いただける皆様は、企業メセナ協議会のサイトから、直接ご応募ください。（こちらから⇒）



## 今回(20周年記念)の予定演目(みどころ・持どころ)

秋の舞台は、今年も桑名宗社(春日さん)の大祭神事(地元小学生4名による「豊栄舞」)を高舞台上演します。多度山の榊を採物にして、古代から受け継ぐ歌声の響きとともに管絃の演奏で輪になって舞います。

また、舞台経験した子供たちは成長して、「鳥」や「蝶」の舞や演奏にも挑戦しています。

今年は、干支「龍」の舞、大学生の「陵王」と中学生の「納曾利」をお楽しみください。

20周年を記念して、当舞楽会の初回に上演した「林歌」のほか、

大河ドラマ「光る君へ」の時代、長保年間(1000-1003)に編曲・作舞された「長保楽」、

当会が2018年に本格復興した大曲「蘇合香」を全編再演します。



多度雅楽会チャンネル  
  
 チャンネル登録をお願いします。



## たど 多度雅楽会

上げ馬神事で有名な多度大社の歴史は古く、その雅楽は奈良時代に遡り、江戸時代に雅楽を愛好した松平定信の後裔が桑名藩にて継承しました。多度雅楽会は、その由来ある三重県桑名市と東京都江東区を拠点として、雅楽を伝える活動と公演を続けています。「文化芸術による創造のまち」文化庁支援事業(平成19-20年度)の実績をもとに、大太鼓の本格舞台上にて「舞楽の大曲」や「御神楽一具」等の継承にも取り組んでいます。桑名市文化協会の活動ほか、春秋定演(六華苑舞楽会)、東京の新春公演、富岡八幡宮例大祭奉納など、地域の人々との交流を大切にしており、近年では、伊勢神宮のある三重県をPRする活動にも協賛しています。詳しくは、サイト (<http://www.tadogaku.com/>) をご覧ください。



会員募集中 初心者も経験者も、出演希望の方なら歓迎です。お気軽にご連絡ください。

稽古場所：六華苑・立坂神社等(週末、桑名市)又は 東京 富岡八幡宮(火・木曜、江東区)

### < 主演と解説 > 田中 松 緑

多度大社の地元に生まれ育ち、家系の流れで中学のころから雅楽を奏で舞い続けている。「多度雅楽会」の代表として子供たちにも雅楽を伝え続けながら芸術性を追究しており、平成25年には文化庁の地域伝統文化功労者に選ばれた。ユネスコ文化遺産となった石取祭で有名な桑名宗社(春日神社)で中世から伝わる例大祭の神事(桑名市無形文化財)を主導する等、地域の祭礼に奉仕するほか、芸術家として、毎年春秋に全国でも上演が稀な名曲を多数公演している。

